

2020年12月23日

フランス国有鉄道が発行するグリーン・ボンドへの投資について

～より環境にやさしい鉄道システムの構築～

第一フロンティア生命保険株式会社(代表取締役社長:武富正夫)は、フランス国有鉄道(正式名称:Societe Nationale SNCF SA、以下「SNCF」)が発行する米ドル建グリーン・ボンド(50百万米ドル、約52億円相当)(以下、「本債券」)への投資を行いましたのでお知らせいたします。

当社では「持続可能な開発目標(以下、SDGs)」の達成に向け、以下の主要6テーマにフォーカスし、優先的に取り組んでいます。



この中で、資産運用分野を中心とするテーマとして「ESG 取組みの推進」を選定しています。本取組みの一環として今回投資する債券は、ISS ESG¹による第三者認証を得たグリーン・ボンド・フレームワークに基づいて起債されたものです。本債券は SNCF として、日本の投資家を対象に起債する初めてのグリーン・ボンドであり、第一フロンティア生命が発行額の全額を購入いたしました。

SNCF は、フランスおよび世界において、旅客・貨物郵送およびロジスティクスを手掛ける最大手であり、フランス政府が100%保有する国有鉄道会社です。フランス経済において、鉄道輸送は乗客と貨物の輸送量の10%に貢献する一方でCO2総排出量は0.6%と、その他の輸送手段に比べて温室効果ガス排出量が少ない特徴があり、SNCF は鉄道輸送を促進するため「全ての人にとってアクセス可能な移動手段の提供」を目標として掲げています。また SNCF は、鉄道輸送における温室効果ガス排出量削減にも積極的に取り組んでおり、2035年までにディーゼル車両を

¹ ISS ESG は世界をリードする ESG 投資の認証機関の一つであり、国際資本市場協会(ICMA)のグリーン・ボンド原則などの外部原則と SDGs 債の整合性を評価し、また調達された資金の用途について、対象となる資産のサステナビリティの質を分析しています。SNCF は「B-」と非常に高いレーティングが付与されており、「PRIME」というステータスの認証を受けています。これは関連セクター(Transport Infrastructure sector)において上位10%に位置していることを示しています。

廃止することやブレーキやエンジンの性能向上を通じて、高速鉄道での燃料消費を最大 12%削減することを目指しています。本債券により得られた資金は、SNCF グループの保有するフランス国内外における鉄道システム・鉄道網の保持・拡充・改善に充当されます。

当社は、持続可能な社会の達成に貢献するために、お客さまからお預かりした約 8.5 兆円の資金を運用する機関投資家として、責任を持った投資を推進していくことが非常に重要であると考えています。今後も引き続き、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、SDGs 債の投資に積極的に取り組んでいきます。

【本債券の概要】

発行体	フランス国有鉄道 (Moody's 格付け:Aa3、S&P 格付け:AA-、Fitch 格付け:A+)
発行額	50 百万米ドル(52 億円相当)
償還期間	30 年



(写真提供元:SNCF)

以上